

会 議 録

会 議 名	第 26 回米原市男女共同参画審議会
開 催 日 時	令和 7 年 8 月 27 日（水）午前 10 時～11 時 15 分
開 催 場 所	米原市役所 本庁舎 4 階 会議室 4 B
出席者および欠席者	<u>出席者</u>：小沢修司委員(会長)、渡部優委員（副会長）、塚田多佳子委員、谷本政信委員、堤辰也委員、時田智史委員、膽吹照子委員 <u>欠席者</u>：中村真理委員、西村正子委員、岸根千代美委員 米原市：筒井総務部長、澤課長、香水課長補佐、谷川主幹、丸本主任 市男女共同参画センター：鐔田知恵子所長
議 題	【審議事項】 ・第 4 次米原市男女共同参画推進計画における進行管理について ・令和 7 年度事業所における男女共同参画実態調査の状況について
資 料	<u>当日配布資料</u> ・座席表 ・令和 2 年度男女共同参画に関する市民意識調査票 ・米原市人権センター S・C だより（9 月号） ・人権を考えるつどいチラシ ・令和 7 年度きらめき人権講座チラシ <u>事前配布資料</u> ・次第 ・資料 1：米原市男女共同参画審議会委員名簿 ・資料 2：米原市男女共同参画審議会規則 ・資料 3：第 4 次米原市男女共同参画推進計画の体系 ・資料 4：進捗状況（男女共同参画推進計画進行管理） ・資料 5：令和 7 年度事業所における男女共同参画実態調査の状況について ・参考資料：令和 7 年度事業所における男女共同参画実態調査票
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	○男女共同参画推進計画に基づく進行管理について審議を行った結果、男女共同参画社会の実現のために市が目標とする数値の達成および数値の改善に向け、その課題に対する対応策を明確にするとともに、所管する人権政策課は他課への助言等を行う。 ○市民意識調査について次回の審議会で調査項目を審議する。
審 議 経 過	議題について事務局から説明を行った後、各委員から意見等をいただいた。意見は別記のとおりである。
会議の公開・非公開の別	■公開 <u>傍聴者：なし</u>
会議録の開示・非開示の別	■開示 □一部開示（根拠法令等： ） □非 開 示（根拠法令等： ）
全部記録の有無	会議の全部記録 ■有 □無 録音テープ記録 □有 ■無
担 当 課	総務部 人権政策課（ 内線 4263 ）

【第 26 回審議会 会議録】

(1) 第 4 次米原市男女共同参画推進計画における進行管理について

資料 3、4「第 4 次米原市男女共同参画推進計画における進行管理について」に関して事務局から説明を行った後、各委員から御意見をいただいた。(詳細説明略)

会長

資料 4 の進捗状況での評価方法が示されていますが、特に資料 4 の基本目標 2 に関わるところで、先ほどの部長の挨拶にもありましたが、ジェンダーギャップ指数が日本はすごく低い。理由としては重要な政策決定に当たる部分で女性の占める割合が非常に低いということ。米原市の場合、基本目標 2 で、それが集中的に表れていると感じます。例えば上から 2 つめ目の女性役員登用自治会数や女性が代表者または副代表である団体の割合、防災会議における女性委員の割合、審議会の委員のうち女性が占める割合、女性委員のいない審議会等の割合や市役所の管理職に占める女性の割合などは残念ながら評価は×になっています。女性の登用については自治会の場合は市役所でできるわけではないですが、市役所の女性管理職登用については対策を立てなければいけないと思います。評価が×はわかりますが、どういう対策を講じるかをしっかり検討すべきだと思います。市としての方向性や考え方をお聞かせください。

事務局

職員研修で考課者研修を行い、人事考課制度を適切に運用し性別にかかわらず、能力と適正に応じた管理職等への登用を行うことが必要であると考えています。

会長

管理職における女性職員の割合が増えないのは人事考課制度の運用に問題があると認識されているということですね。では、どのような改善が必要かをもう少し踏み込んでお話しいただければありがたいのです。

事務局

人事考課制度も一つですが、実質的に女性管理職になられる年代で早めに退職される方も多いたともあります。そういう方を引続き勤めていただき、管理職にもなっていただきたいと思っています。

会長

現状値が 28.9%で目標値 30%はあと 1 人で達成する状況だと思います。単に人事考課制度の運用ではなく、それぞれの方の事情に寄り添いながら対策を打っていかなければいけないと感じます。

事務局

今、会長がおっしゃったように人事考課制度だけでなく、例えば若い世代で子育てが必要な時に、子育てのために退職されて女性の割合が減るとことも一つの要因だと思いますので、続

けていけるよう組織としての処遇や職場環境の整備が課題と考えます。

会長

おっしゃるとおりで、しっかり課題と対策を明記しておくことが重要だと思います。

委員

推進計画体系の中で重点項目が5つあります。評価は最初の重点項目 1-1-②固定的な性別役割分担意識の解消は◎になっています。2-1 と特に 2-2 の重点項目がすべて×となっているので、重点項目でありながら×というのはやはり会長がおっしゃったように、対策をしっかりと考えないといけないし、防災会議における女性の割合が2人から1人減少したのも、人材発掘をして強く要請すれば改善が進むと思います。

また、女性のいない審議会ですが、女性の委員の発掘について人権政策課でアドバイスするなど、候補者を連れてくるぐらいの気概で実施しないと達成できないと思いますし、重点項目に×の評価は残念に思います。

委員

実際にどのように呼びかけて、どう動いているのか。具体的な対策が見えてこないので教えてくださいいただけますか。

事務局

市には、なでしこネットという女性人材バンクがあり、人権政策課がその担当をしています。

審議会の委員を選んでいただくときに、なでしこネットの登録者を紹介させていただき、1人でも多くの方の女性役員登用を周知しています。

審議会の委員については、総務課に協議書が回付されます。その中で、女性割合を一定数保つことを念頭に各関係課に依頼をしているわけですが、その中で充て職となる委員もいくつかあり、団体へ依頼した段階で男性が多くなり、そういったことが原因で女性がいらない状況もあるのが現状です。

会長

本日の資料で男女共同参画審議会規則がありますが、この中で性別の割合が記されています。これに従って我々の審議会では、委員を決めるに当たり事務局で尽力いただいています、ほかの審議会や委員会等では決まりはないのですか。

事務局

全体の審議会の持ち方として3割以上の決まりがあります。ただ、それぞれの審議会の中では、細かく規定していない審議会もあります。例えば各種団体を審議会の構成員としておられる審議会については、それぞれの団体からの推薦で進めておられます。女性登用について呼びかけやお願いはされていますが、なかなか人材が無いなど、推薦者は男性の割合が多い状況です。

会長

しかし、市の中で3割のラインを引いているのであれば、充て職や推薦で女性が得られなかつ

た場合は、ほかの審議会や委員会で何とかすることはできないかと思います。
例えば、我々の審議会と言えば、私は充て職ではありません。団体にできるだけ女性をと声をかけいただいて、それでも挙がらないときには、やはりほかの審議会でも考えることはできると思います。防災会議についても、発言がありましたが何とかなるのでしょうか。

事務局

防災会議は条例でメンバーが決まっています。

会長

防災会議については、目標が 20% となっています。高い目標を掲げることは非常に大事ですが、目標が高すぎて未達成が続くのは適当ではありません。目標値を変更することはふさわしくありませんが、何か手を打たないといけないとも思います。

委員

防災会議はどのようなキャリアを求めているのですか。地域消防で女性の参画は少ないと感じますが女性の視点は重要です。私の地域では長く避難訓練をしていなかったのですが、昨年実施した際に、女性の視点で足りない部分を書き出してもらって、今年補いました。

会長

女性人材バンクなでしこネットの登録者が 67 人から 64 人に減り、評価が×になっています。
なでしこネットで登録された方の相互ネットワークや交流はどうしているのですか。

事務局

研修会等について文書等で周知をさせていただいています。

会長

資料 3 にある重点施策をしっかり意識していけば評価が○や◎になるのではないかと感じます。担当課にお任せではなく工夫を図るよう、市役所の中で音頭をとる役割を担っている人権政策課に尽力いただきたいと思います。

委員

人材バンクですが、LINE グループなどを作り、「このような人材が必要です」といった情報を発信し、積極的にやりたい人を見つけ、その人を推薦するなどのやり方も良いのかなと思いました。

会長

そうですね。声かけの工夫などを、変えたりしていけば、案外、簡単に状況が改善されるかもしれません。そういう認識を持って事務局が対応いただければと思います。よろしくお願いします。

(2) 令和7年度事業所における男女共同参画実態調査の状況について

資料5「令和7年度事業所における男女共同参画実態調査の状況について」に関して事務局から説明を行った後、各委員から御意見をいただいた。(詳細説明略)

会長

この調査は、目的にあるように第5次男女共同参画推進計画策定に向けた基礎資料を抽出するために事業所に対して行っているもので、今後は市民に対しても調査を行う予定となっています。何か質問はありますか。

委員

感想になりますが、審議案件の1と2を通して一番思うのは、男性の家事進出ということなのですが、男性が家の中で担っていることが少ないと思いました。重点目標にあります。固定した性別役割分担意識が、地域や職場よりも家庭内で一番強いのではないかと思います。女性が管理職を希望しない数字が高く、就業を困難にしている要因が「家事、育児、介護」がありますので、ここにどれくらい男性が家で担うかで女性の社会進出にとって一番大事なのかなと感じます。今後の市民意識調査で男性がどれくらい意識しているかを知りたいと思っています。また先ほど副読本の話もありましたが、積極的に利用が進めば良いと思いました。

会長

他に何か質問等ありますか。ないようなので、本日の審議会を終了させていただきます。

《終了》